

東日本大震災による今夏の電力供給不足に対する対応について

東日本大震災により、今夏の東京電力管内の供給電力が需要電力に対して不足すると予想されていることから、当業界では、夏場の電力需要ピーク時の瞬間使用最大電力を削減するため、4月25日開催のホール5団体代表者会議で下記の通り合意した。

記

1. 趣旨

東京電力管内において、今夏に電力供給不足が予想されることから、東京電力管内のホールにおいては、25%以上の電力削減を行う。

2. 実施期間

平成23年7月1日から9月30日まで

3. 実施事項

- (1)ホールは月3回以上（平日）の輪番休業を実施し、15%を削減する。
- (2)照明及び空調については13%以上の削減となるよう以下の項目を組み合わせ実施する。
 - ア 外壁照明の終日消灯
 - イ ネオン、看板、電光掲示板等照明の消灯
 - ウ ホール内の間接照明を点けない。
 - エ 自動販売機の照明を24時間消灯
 - オ ホール内の照明を50%間引き
 - カ エアコンの設定温度を2度上げる。
- (3)その他LED照明への変更等に努める。

平成23年4月25日

全日本遊技事業協同組合連合会

理事長 原田 實

社団法人日本遊技関連事業協会

会長 深谷 友尋

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会

代表理事 高濱 正敏

一般社団法人余暇環境整備推進協議会

代表理事 宮脇 磊介

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

代表理事 加藤 英則

代
表
印
省
略